

2022年度 教育推進(結果)

PLAN(計画)	DO(実施)		CHECK(評価)		ACTION(次への改善)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。	D:計画を実施しその効果を測定する。	実施状況 (実施率)	C:目標とその実践の差異、実践した行動の評価・分析を行う。		A:課題や問題点についての改善、対策を行い、次への「PLAN」へ繋げる
			評価	評価の理由/課題/ 根拠データ等	
①教員の、男女比、年齢構成、外国人教員の割合、実務家の登用を各学部、研究科作業部会において検討する	①教員の、男女比、年齢構成、職位について検討した。実務家教員については継続課題とする。	80%	実務家教員の数値については継続課題とする。	調査不十分	実務家教員を含め本学教員の職位、男女比、年齢について調査を引き続き行う。
②現存する文京学院大学「教員組織の編成方針」について、各学部・各研究科ごとに立案する。	本学教員の職位、男女比、年齢について調査を行った。各学部研究科において適切な構成比についてはバランスの取れたという点では合意が得られているが、具体的に数値化することが困難であり継続課題とする。	50%	専門分野に限る、各学部研究科において適切な構成比については引き続き検討する。	全学教務委員会において各学部、研究科で検討を依頼するように修正する	全学教務委員会など適切な部署に依頼するとともにベンチマークを調査する

2023年度 教育推進

PLAN(計画)PLAN(計画)
P:目標を策定、実現するための具体的な方法を考える。
①引き続き、教員の男女比、年齢構成、外国人教員の割合、実務家の登用を各学部、研究科作業部会において検討する。
②現存する文京学院大学「教員組織の編成方針」について、各学部・各研究科ごとに見直しをする。